

# 「コミュニケーション型 共同研究」の流れ

STEP

1

## 公募

公募相談会のアナウンス〔阪神高速道路(株)HP等〕



公募相談会〔応募者⇒阪神高速道路(株)〕



社内説明会等〔応募者⇒阪神高速道路(株)〕



企画書の提出依頼〔阪神高速道路(株)⇒応募者〕

応募していただいたシーズと阪神高速道路(株)のニーズのマッチングを模索し、ニーズに合致する可能性がある技術かを確認する場です。

公募相談会で、ニーズに合致する可能性がある技術について、プレゼンしていただく場です。

STEP

2

## 企画書の提出・審査・選定

共同研究企画書の提出〔応募者⇒阪神高速道路(株)〕



審査



選定通知〔阪神高速道路(株)⇒応募者〕

STEP

3

## 協定の締結

共同研究申請書の提出〔応募者⇒阪神高速道路(株)〕



協定書の作成、協定の締結〔応募者⇔阪神高速道路(株)〕



共同研究実施計画書の提出〔応募者⇒阪神高速道路(株)〕

STEP

4

## 共同研究の開始

# 「コミュニケーション型 共同研究」ここがポイント

コミュニケーション型 共同研究では阪神高速道路(株)のニーズ(大規模修繕・更新、長寿命化、減災、ビッグデータ、ITS、異分野・業種融合等)について、皆さまがお持ちの幅広いシーズ(技術・材料・工法)を募集しています。従来の新技術募集や技術開発では解決することが出来なかった課題に対して、相互にコミュニケーションをとりながら新たな価値を創造しませんか。応募していただいたシーズと阪神高速道路(株)のニーズのマッチングを模索し、試験施工や共同研究による技術開発に結びつけたいと考えています。

# 1

ポイント

一方通行になりがちであった共同研究のテーマをコミュニケーションによって、相互の意見をふまえて技術開発を行うことができる。

# 2

ポイント

何に使っていいかわからない技術、使う方法が思いつかない技術について、阪神高速道路(株)と一緒に考えることができる。



# 3

ポイント

既に開発された未活用技術、あるいはそれをもとに実施した共同研究の成果を阪神高速で、実用化することができる。

※業務や工事の受注時に、該当する技術の共同研究成果を有していることで加点される場合がある。